

CASBEE®広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島赤十字・原爆病院	階数	地上11F
建設地	広島市中区千田町1丁目9番6号	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	232人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年2月24日
敷地面積	22,963 m ²	作成者	丹野 敏弘
建築面積	3,243 m ²	確認日	2014年2月28日
延床面積	24,446 m ²	確認者	乾 康雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 3.1	スコア = 3.7
<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>屋根については外断熱とし、外壁およびピロティ上部等の断熱性能を十分に上げることで室内への熱の侵入抑制し、室内環境に配慮している。/ 広く確保した各病室の窓をベッド高さに合わせ患者さんの快適な居住環境を提供している。又、中庭上部に集光装置を設け、共用部を自然採光を取り込む配慮を行っている。/ 節水型衛生機器、LED照明等高効率の設備を採用することにより、E R R(一次消費エネルギー低減率)は18.4%としている。/ 各設備において年間を通じての排出熱量、又は削減熱量をモニタリング可能な機器を選定している。/ 構</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>先行工事において既設の原爆遺構を別敷地に移設し、歴史と緑を感じられるメモリアルパークとして整備を行っている。/ 先行工事において立体駐車場を整備し、工事中の駐車場確保を行っている。加えて整備事業完成時には、市条例の基準を大きく上回る平面駐車場、駐輪場を確保する。</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>免震構造を採用し、利用者の安全及び災害時でも、大きな損傷なく医療機能が継続して提供できるよう配慮している。/ 設備配管・配線のメンテナンス・更新用に天井・壁に適宜点検ハッチを設置している。又、特別高圧室及び地下免震ピットにマシンハッチを設置し、直接外部よりメンテナンスが行えるよう配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される